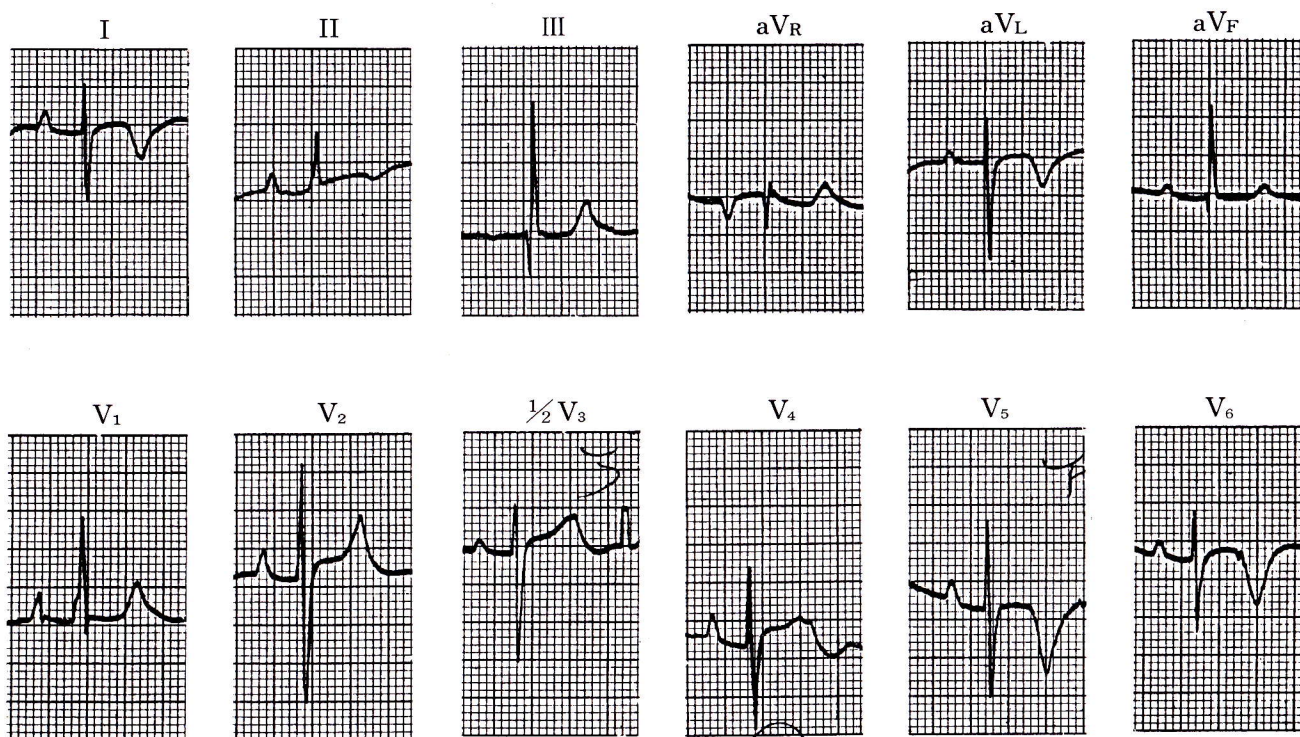


症例 11

● 11歳 男

● ファロー四徴症根治術後の患者。



- 1) V_1 の尖鋭な陽性P波は何か。
- 2) V_1 の $R/S > 1$, V_6 の $R/S < 1$ は何を意味するか。

症例11

心電図診断

右心性P波，右室肥大，非特異的心筋傷害，PQ延長

V₁のP波は高く尖鋭で(3.0mm)，右心性P波の基準を満たしている．一方IIのP波は尖鋭であるが，2mmで肺性P波の基準は満たしていない．PQ時間は0.24秒と軽度延長を認める．前額面電気軸は+104°で右軸偏位傾向を認める．V₁のR波は13mmでR/S>2，かつV₆のR/S<1で右

室肥大がある．しかし，右側胸部誘導に右室肥大に伴うストレインパタンのST-T変化は認められず，I，aV_L，V₅，V₆に深い陰性T波をみる．本症例はファロー四徴症であるが，ファロー四徴症では右室肥大にもかかわらず，右側胸部誘導のT波が陽性のことが多い．

MEMO

〈肺性P波，右心性P波〉

II，III，aV_Fの高く尖鋭なP波(≧2.5mm)を肺性P波(P pulmonale)といい，V₁の尖鋭な陽性ないし2相性のP波(陽性部分の高さ≧2mm)を右心性P波(P

dextrocardiale)という．いずれも右房負荷(右房肥大)の所見であるが，両者は必ずしも同時にみられるとは限らない．